

# Humio Community Edition : 最大規模のデータの取り込みを無料で利用可能

すべてをログに記録し、何にでもリアルタイムで無料で回答

October 12, 2021 | Cinthia Portugal VP of Marketing

これは、10月12日～14日に開催の「CrowdStrike主催サイバーセキュリティイベント **Fal.Con 2021**」の発表内容の一部です。

ここで **Humio Community Edition** をご紹介できることを嬉しく思います。Humio Community Editionは、ユーザーが1日あたり16GBのデータ取り込みと7日間のデータ保持を無料で継続的に利用でき、Humioが持つストリーミングの可観測性（オブザーバビリティ）のパワーをスムーズかつ無料で提供するサービスです。クラウド向けに構築されたHumio Community Editionは、構造化データと非構造化データをストリーミングし、インデックスフリーの検索、リアルタイムのアラート、ライブダッシュボードを可能にしています。瞬時に実行可能な可観測性により、DevOps、ITOps、SecOpsチームは、分散システム全体のパフォーマンスを強化し、脅威や脆弱性を調査して、運用とITインフラストラクチャのレジリエンスを高めるのに必要なインサイトを適切なタイミングで取得できます。

## Humio Community Editionを構築した理由

私たちは、Humioが持つパワーとスピードを開発者コミュニティに体験してもらいたいという考えのもと、Humio Community Editionを構築しました。**従来のログ管理ソリューション**は、時間もコストもかかりがちでレガシーソフトウェアで構築されています。一方、Humio Community Editionには、最新の可観測性に必要な最も強力な機能が備わっています。Humioの最新アーキテクチャに組み込まれたデータストリーミング、インデックスフリーの検索、高度な圧縮技術により、DevOps、ITOps、SecOpsの専門家を従来の制約から解放することができます。

可観測性を使用するコミュニティ全体が、Humio Community Editionを無料で使用できるようになったため、ストリーミングの可観測性を強化し、システムの品質と信頼性をリアルタイムに向上できるだけでなく、未知の事態に対しても積極的に備えることができます。これにより、チームはインシデントの根本原因の迅速な把握、防御、回復が可能になります。Community Editionを使用すると、ユーザーはパフォーマンスを向上して納品までの時間短縮を実現するために必要なリアルタイムのインサイトを得ることができ、チーム間の連携が促進されます。

「私はあらゆるユーザーに、Humioのパワーを体験していただくことを目指しています。Humio Community Editionでは、最新の可観測性に必要な最も強力なHumioの機能を提供しています。Humioは現在市場で利用可能な他のソリューションとは一線を画しており、構造化、非構造化を問わず、あらゆるデータをストリーミング速度で大規模に取り込むことができます。Humioのログ管理プラットフォームは、比類のない速度、パフォーマンス、ストレージ能力を提供すると同時に、Humio Community Editionは、他社には真似できない優れたログ管理へのアクセスを、完全に無料で提供します。Humio Community Editionは大きな変革をもたらすでしょう」

CrowdStrike社長兼CEO、共同創設者  
ジョージ・カーツ (George Kurtz)

## Humio Community Editionはどこでダウンロードできますか？

Humio Community Editionはクラウドベースのソリューションで、ウェブブラウザからアクセスできます。

**Humio Community Editionのログインページにアクセス**し、Google、GitHubまたはBitBucketのアカウントを使ってアカウントを作成できます。お支払い情報の登録は必要ありません。

## Humio Community Editionの特長と機能

無料ですぐに利用できるHumio Community Editionには、以下のような特長があります。

- 1日あたり最大16GBのデータ取り込み
- 7日間のデータ保持
- クレジットカード不要
- 試用期間限定なしの継続的な利用
- インデックスフリーのロギング、リアルタイムのアラート、ライブダッシュボード
- 構造化データ、半構造化データ、非構造化データの取り込み
- 新しいパッケージを構築するためのガイドを含む、Humioのマーケットプレイスとパッケージへのアクセス
- 新しいパッケージやAPIを開発するための、[活発なコミュニティでの学習とコラボレーション](#)
- Falcon Data Replicator (FDR) サンプルデータが含まれており、ユーザは拡張された脅威ハンティング機能を迅速に使用可能

## Falcon Data Replicator (FDR) のデータをHumio Community Editionで試してみる

CrowdStrike Falcon Data Replicator (FDR) をHumioにポーティングすることで、脅威ハンティングやフォレンジックを高速かつ大規模に行うことができるようになりました。Humioでは、ユーザーはFDRデータをより長期間保持し、リアルタイムでライブ検索を行い、そのデータを他のログソースと相関させることができます。Humioのパワーを体験していただくために、Humio Community EditionにはサンプルのFDRデータが用意されています。

[今すぐHumio Community Edition](#)にアクセスしてサンプルデータセットを試用し、CrowdStrikeデータをHumioと組み合わせるのがいかに簡単かご確認ください。

## HumioのNestコミュニティに参加：可観測性スキルを高め、共有する

Nestは、DevOps、ITOps、SecOpsが利用できる無料のコミュニティです。メンバーは、ログ管理のスキルを高め、Humio Community Editionの他のユーザーと連携して、今日の可観測性に関する課題を克服することができます。

Humio Community Editionのユーザーは、パッケージ、API、その他のリソースにアクセスして共同で取り組むことで、システムを保護しインシデント対応時間を短縮させることができます。[今すぐNestにアクセス](#)して、他のユーザーと交流し、ブログ、ポッドキャスト、レポート、教育コースなどの無料リソースのライブラリにアクセスしてみましょう。

### 参考情報

- [Humio Community Edition](#)を試してみる。
- Humio Community Editionの[プレスリリース](#)を読む。
- [Nestコミュニティ](#)を探索する。